



セーフティチャレンジ100日コンテスト目標達成



鷹巣地区安全運転管理者協会 主催

チーム名は、「フィーバーはあと」
昨年8月1日～11月8日の100日間。
5人の職員でチーム戦に参加し、事故のないように、
チームの融和と結束を図り、安全運転に努め、全員
無事に無事故・無違反のチャレンジをクリアいたしました。
これからもこの栄光を胸に、安全運転に努め、みな
様のご自宅へ訪問させていただきます。
日々の業務も、侍ジャパンのような団結力で努めて
まいりますので、応援よろしく願いいたします。

4月より「はあとサポーター」会員

5年度の会員登録よろしく願いいたします

★はあとサポーター会員★

特典

- 1 会員証及びピンバッジの交付（初回登録時のみ）
- 2 各種講習会等の案内
- 3 有償福祉サービス事業の優待利用
（介護保険適用外のヘルパーの利用 / ふとん消毒乾燥会員値引き）
- 4 はあとだよりの発行

年会費

- 1 普通会员（個人の登録会員） 一口 1,000円
- 2 特別会員（団体等の登録会員） 一口 5,000円



お知らせ：今年度より「はあとだより」は4月と10月に発行となります

ごあいさつ

春の日差しを浴びて「はあとガーデン」のチューリップの芽がぐんぐん育ち、今年はいつになく早い開花になりそうな予感がしています。

日頃より当法人に対するご理解、ご指導に深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大から3年の月日が流れ、ようやく今年5月8日から新型コロナウイルス感染症について、新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、5類感染症に位置づけると政府発表が出されました。これにより、マスクの着用については3月13日から屋内外を問わず個人の判断に委ねられることになり、少しづつではありますが、コロナ感染症拡大以前の生活に戻る兆しが見え始めました。

しかしながら、私たち法人はご利用者様、ご家族の健康状況を守り、適正なサービス提供を心掛けるため、引き続き感染予防対策を行ってまいります。

また、いまだ続くロシアによるウクライナ侵攻で毎日のように争いと破壊のニュースが流れ、気分が滅入りがちなところに、3月22日ワールドベースボールクラシック決勝で「日本の優勝、世界一！」のニュースが流れました。

一球一球に力を込め、繋ぐチームプレーで大きな選手たちと互角に戦う姿、優勝決定の瞬間の選手たちの姿は私たち日本国民に感動を、野球小僧君や野球に興味のなかった人たちの心にまでも勇気と希望を与えてくれました。

そして、激闘を尽くした各国が互いの国に、選手に敬意を表したたえ合い、喜びあう姿に本当に胸が熱くなりました。一生懸命な人を応援することでも幸せな気持ちになれるものなのですね。

侍ジャパンと同様とはいきませんが、私たち役員・職員も一丸となり、皆様に笑顔を届け、寄り添い、安心してご自宅でお過ごしいただけるよう今年度もご支援をさせていただきます。

今後とも皆様のより一層のご理解とご指導をよろしくお願いいたします。

2023年4月吉日

(一財) たかのす福祉公社 理事長 松橋雅子



フードセンター たかのす

～トピックス～



令和4年8月5日（金）

フードセンターたかのすの事業所見学会があり、17名の参加者となりました。

日々の作業をビデオ映像で見えていただき、職員と代表の利用者の方と質疑等に対応し、見学会を無事終えることができました。

フードセンターのお弁当とプリンを食べていただく予定でしたが、コロナの関係で大勢での食事はできず、利用者と一緒に豚の角煮や醤油ラーメンの販売を行いました。



（フードセンターたかのす）

令和4年9月30日（金） セルフ商談会 2022
障がい者の施設（就労継続支援B型）の事業所で取り組んでいる内容を、企業・官公署の方へ情報を提供し、作業の受注拡大に向けた紹介イベントが開催されました。フードセンターたかのすなどの事業所では、障がい者の工賃向上につなげていくことを目的としております。

主体 秋田県
運営主体 秋田県社会就労センター協議会



（イオンスーパーセンター大館店 フードコート）

福祉用具レンタルセンターはあと

暮らしに役立つ情報



入浴中の事故を防ぐポイント

入浴中の事故は、持病や前兆がなく起こることがあります。自分の健康を過信せず、予防意識をもちましょう。

家族みんなで下記の6つの対策を心掛けましょう。

1. 入浴前に脱衣所や浴室を暖めておきましょう
2. 温度は41度以下、お湯につかる時間は10分までを目安にしましょう
3. 浴槽から急に立ち上がらないようにしましょう
4. 食後すぐの入浴や、飲酒後、医薬品服用後の入浴は避けましょう
5. お風呂に入る前に、家族に一声かけましょう
6. 家族は入浴中の高齢者の動向に注意しましょう

居宅介護支援事業所はあと

「居宅介護支援事業所はあと」では、現在、介護支援専門員（ケアマネジャー）2名（女性1名、男性1名）にて、在宅で生活を送る利用者及び家族へのケアマネジメントを行っています。また、地域のケアマネジャーとの情報交換や研修会にも参加をしています。今回は3月17日に参加をした足裏のストレッチ、棒を使用したセルフケアの研修内容についてお知らせします。

足裏を刺激する事で血液循環や新陳代謝、自己回復力を高める事ができると言われています。

日頃から足裏を刺激して健康増進を図るのが望ましいですが、継続していく事が難しいと思われる。

その為「セルフケア」が良いとの事でした。

例えば→デスクワーク、家事、入浴、食事をしている時に足やふくらはぎをもんだり、足指運動をしてみてください。

（2人で足ジャンケンも良いかもしれませんね）
足つば専用棒と言うのもあるとの事です（写真参照）

足は第二の心臓とも言われています。
令和5年度は、足のセルフケアを行いながら、健康の維持、増進を図っていきましょう！！



写真上（足つば専用棒）

訪問看護ステーションはあと

主治医の指示により訪問します。

「自分らしく生きる」を叶えるために、一人ひとりに寄り添った看護を行います。

「受診が大変になった」「最後まで家で暮らしたい」などでお困りの際は、

「はあと」までご連絡ください。

はあとでは、うえだクリニック、たむら内科クリニック、奈良医院、市民病院、大館市立総合病院、秋田大学附属病院からの先生の指示で北秋田市全域と大館市（旧田代町）に訪問しています。

現在、訪問看護師3名でサービス提供しております。

看護職員も募集しております！

